

タイの食品安全性確保への取組み

日本にとって主要な農産物輸入先国であるタイの食品産業における安全性確保対策について、政府、食品業界、個別企業ごとの取組をまとめた。

政府の取組については、食品の製造、輸入、販売、表示等を規制する食品法のほか、GMO（遺伝子組換え体）表示、残留農薬基準、動物医薬品残留基準、食品添加物基準、GMP（適正製造工場基準）について紹介している。

食品業界の取組としては、HACCP、ISOの認証状況、鶏肉製品のトレーサビリティ確保に向けた取組、エビ養殖における行動指針のほか、トピックスとしてEU向け鶏肉および冷凍エビの残留化学物質問題を紹介している。

個別企業の取組としては、鶏肉加工業におけるトレーサビリティ確保、王室プロジェクトによる野菜生産の農薬使用管理、日系輸出企業による野菜生産農家への技術指導、小売店における無農薬野菜の販売事例を紹介している。